

平成 26 年 2 月 17 日第 15 回 F D 研修会
報告書

第 14 回 F D 研修会に引き続き、教育の質保証に向けた運用システムへの理解促進のために、カリキュラムマップの作成を中心に研修会を実施した。

研修会概要は次の通りである。

短期大学に限らず大学教育の質保証が世界的に求められるものとなっており、教員として、従来の教育から新しい教育のスタイルへとパラダイム転換することが必要とされている。また、大学全体には教育方針の大別化がなされ、文部科学省はこのタイプ別に向けた大学の個性化を勧めている。喫緊の課題としては、カリキュラムマップを中心とする学修成果を評価するシステムが求められる。これは、学生が学修の P D C A を行うものに対して、教員側にも個人から組織的なレベルまでの P D C A を求めるものである。研修会では、今日の教育振興基本計画をはじめ、学士力、社会人基礎力、人間力等、大学側に養成が求められる内容を整理し、平成 25 年度現在までに、教務委員会・学科会議で継続審議し策定してきた学修の到達目標とその学修成果について再度認識するとともに、平成 27 年度からの実施に向けワークシートを使った作業を行うことで、実際運用に向けた理解を図った。

アンケート調査結果からは、教員の 76% の参加をいただいた。参加者からのある程度の理解を得ることができたが、3 割は教育の質保証については「理解できなかった」と、2 割は研修内容について「理解できなかった」との回答を得た。限られた時間のなかではあるが、十分に説明ができていなかったことは指摘される。実際の運用面においては、今後理解促進を図るため、より具体的にグループワーク等をする必要もあると考えられる。実際の運用においては、システムの構築内容に大きく左右されるものであり、現時点で実際の詳細な運用システムを研修内容で紹介することは不可能であるが、教職員一同、教育の質保証に向けたカリキュラムマップ運用の方向性は概ね理解されたものと考えられる。

第 15 回研修会担当：平田孝治

平成26年2月17日

平成25年度 FD/S D研修会 「教育の質保証に向けて～カリキュラムマップを中心に～」

アンケート調査結果

対象教員数： 29 (出席率 76%)
対象職員数： 18 (出席率 17%)

参加者数： 22 (教員： 19名； 職員： 3名)
回答者数： 14 (教員： 13名； 職員： 1名)

1. 教育の質保証の概要について

	人数	%
全く理解できなかった	0	0
理解できなかった	4	29
理解できた	10	71
とても理解できた	0	0

コメント： 難しい(2)

2. 研修内容について

	人数	%
全く理解できなかった	0	0
理解できなかった	3	21
理解できた	11	79
とても理解できた	0	0

コメント： この効果(カリキュラムマップと思われる)がどれくらい効果があるか、やってみないと分からないと思った。

3. 今後本学で具体的に進めていく内容について

	人数	%
全く理解できなかった	0	0
理解できなかった	1.5	11
理解できた	11.5	82
とても理解できた	1	7

コメント： カリキュラムマップへの落とし込みは難しい。
実際作成には、ある程度時間を要する。

4. 今後の研修内容について

コメント： ワークシートの書き方、説明。
実際にやってみて理解できた。
ワーキングを中心に全体をまとめていただきたい。